

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

- 調査期間 : 令和7年(2025年)2月10日(月曜日)～2月18日(火曜日)
 ■ 調査方法 : インターネット(クローズ型)
 ■ 設問数 : 全34問
 ■ 調査対象者 : 15歳以上の札幌市民 500人(男性:250人 女性:250人)
 年齢別内訳 29歳以下:50人 30代:100人 40代:100人 50代:100人
 60代:100人 70歳以上:50人
 ※ 割合(%)には、無回答は含みません。

下記をお読みになってから、質問にお答えください。

「障害者差別解消法」とは、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的として制定されました。

Q1. あなたは、「障害者差別解消法」(平成28年4月1日施行)を知っていますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 内容を詳しく知っている	9	1.8
2 内容をある程度知っている	64	12.8
3 名前だけは知っている	129	25.8
4 知らない	298	59.6
全体	500	100.0

Q2. 《Q1で「1 内容を詳しく知っている」、「2 内容をある程度知っている」、「3 名前だけは知っている」を選択した方にお聞きます。》
 あなたは、「障害者差別解消法」をどのような媒体や経路で知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 広報さっぽろ	62	30.5
2 札幌市が発行するパンフレット	25	12.3
3 ポスター	7	3.4
4 新聞	48	23.6
5 テレビ	59	29.1
6 ラジオ	8	3.9
7 札幌市の公式ホームページ	9	4.4
8 札幌市の公式SNS	4	2.0
9 札幌市公式以外のインターネット	11	5.4
10 職場の研修や学校の授業	20	9.9
11 家族、知人	7	3.4
12 その他	6	3.0
13 覚えていない	46	22.7
全体	203	100.0

Q3. 《引き続き、Q1で「1 内容を詳しく知っている」、「2 内容をある程度知っている」、「3 名前だけは知っている」を選択した方にお聞きます。》
 あなたは、「障害者差別解消法」が令和6年4月に改正されたことを知っていますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 改正の内容を詳しく知っている	8	3.9
2 改正の内容をある程度知っている	28	13.8
3 改正されたことだけは知っている	61	30.0
4 知らない	106	52.2
全体	203	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

下記をお読みになってから、質問にお答えください。

「障害者差別解消法」では、「障がい」を幅広く捉え、身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）、その他の心身の機能の障がいや難病に起因する障がいがある方で、障がい及び社会的障壁（バリア）により、継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にある方を対象としています。したがって、「障害者差別解消法」の対象とする障がい者は、障害者手帳を所持している方に限られません。

Q4. あなたは、日常の生活の中で障がいのある方を見かけますか。（自分自身は含まないでください。）

	回答数(n)	割合(%)
1 よく見かける	75	15.0
2 しばしば見かける	212	42.4
3 あまり見かけない	152	30.4
4 まったく見かけない	61	12.2
全体	500	100.0

Q5. あなたは、日常生活の中で、障がいのある方と接する機会がありますか。（自分自身は含まないでください。）

	回答数(n)	割合(%)
1 頻繁にある	59	11.8
2 しばしばある	91	18.2
3 あまりない	197	39.4
4 まったくない	153	30.6
全体	500	100.0

Q6. 《Q5で「1 頻繁にある」、「2 しばしばある」を選択した方にお聞きします。》
 あなたとその方との関係を教えてください。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 家族や親戚	60	39.7
2 友人や知人	27	17.9
3 職場の同僚	27	17.9
4 仕事上の関係者	56	37.1
5 その他	19	12.6
全体	151	100.0

《皆さまにお聞きします。》
 Q7. あなたは障がいのある方のための設備やサービスについて、普段意識しているものはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 点字ブロック（視覚障害者誘導用ブロック）の上に物や自転車を置かない	347	69.4
2 一般のトイレが使用可能であればバリアフリートイレ（多目的トイレ）を使わない	332	66.4
3 障がい者等用駐車スペースを使わない	356	71.2
4 補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬）に触れたり話しかけたりしない	247	49.4
5 公共交通機関等における優先席付近では携帯電話の電源を切ったり、電波を発信しない状態にしたりする	153	30.6
6 エレベーター使用時に障がいのある方やベビーカーを押している親を優先する	298	59.6
7 その他	4	0.8
8 意識していない	55	11.0
全体	500	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

Q8. あなたは、過去1年間のうち、障がいのある方へ、何か手助けをしたことがありますか。（家族、友人を除きます。）

	回答数(n)	割合(%)
1 ある	142	28.4
2 ない	358	71.6
全体	500	100.0

《Q8で「1 ある」を選択した方にお聞きます。》
Q9. あなたはどのような場面で障がいのある方への手助けをしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 仕事のとき	57	40.1
2 スーパーやデパートなどで 買い物をしたとき	54	38.0
3 飲食店を利用したとき	18	12.7
4 映画館や劇場、遊園地などの娯楽施設を利用したとき	7	4.9
5 公共交通機関を利用したとき	60	42.3
6 体育館や図書館などの公共施設を利用したとき	11	7.7
7 イベントや催し物に参加したとき	8	5.6
8 国や地方自治体などでサービスを受けたとき	3	2.1
9 宿泊施設を利用したとき	4	2.8
10 その他	12	8.5
全体	142	100.0

《引き続き、Q8で「1 ある」を選択した方にお聞きます。》
Q10. あなたは障がいのある方へどのような手助けをしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 席を譲った	51	35.9
2 横断歩道や階段で手助けをした	41	28.9
3 車椅子を押した	38	26.8
4 一緒に遊んだ	7	4.9
5 買い物の手助けをした	17	12.0
6 公共交通利用時に乗り降りの手助けをした	36	25.4
7 話し相手になった	17	12.0
8 書類の書き方を説明した	8	5.6
9 わかりやすいように説明した	27	19.0
10 筆談した	8	5.6
11 白杖を持った方を誘導した	28	19.7
12 荷物を持った	20	14.1
13 文字を読み上げた	4	2.8
14 その他	10	7.0
全体	142	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

《Q8で「2 ない」を選択した方にお聞きします。》
Q11. あなたが障がいのある方へ手助けをしなかったのはなぜですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 特に求められなかったから	104	29.1
2 声をかけづらかったから	22	6.1
3 したいと思わなかったから	7	2.0
4 何をすれば良いかわからなかったから	37	10.3
5 助けが必要なように見えなかったから	70	19.6
6 自分にとって負担になるような気がしたから	4	1.1
7 手助けが必要な人を見かけたことがないから	136	38.0
8 周りの目が気になるから	2	0.6
9 その他	15	4.2
10 特に理由はない	81	22.6
全体	358	100.0

《皆さまにお聞きします。》
Q12. あなたは、障がいがある方についてどのような情報があれば、配慮や手助けをしやすいと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 障がいの種類	117	23.4
2 困っていることに関する情報	235	47.0
3 配慮や手助けの例に関する情報	178	35.6
4 どのような人からの助けが必要か	166	33.2
5 障がいの程度の情報	74	14.8
6 障がいのある方からの具体的な指示	178	35.6
7 その他	5	1.0
8 わからない	37	7.4
9 特になし	66	13.2
全体	500	100.0

下記をお読みになってから、質問にお答えください。

ヘルプマークとは、外見からは障がいのあることが分かりづらい方が、周囲の方々に援助や配慮が必要なことを知らせることができるストラップ型のマークです。
ヘルプカードとは、緊急連絡先や必要な支援内容などが記載でき、普段から身に着けておくことで、日常場面で困ったときなどに、周囲の援助や配慮をお願いしやすくするカードです。
札幌市では、平成29年10月から「ヘルプマーク」と「ヘルプカード」の配布を開始しています。

Q13. あなたは、「ヘルプマーク」や「ヘルプカード」を知っていましたか。

	回答数(n)	割合(%)
1 どちらも知っていた	119	23.8
2 ヘルプマークは知っていた	279	55.8
3 ヘルプカードは知っていた	33	6.6
4 どちらも知らなかった	69	13.8
全体	500	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

《Q13で「1 どちらも知っていた」、「2 ヘルプマークは知っていた」、「3 ヘルプカードは知っていた」を選択した方にお聞きします。》 Q14. あなたは、「ヘルプマーク」や「ヘルプカード」をどのようなことで知ったり、見かけたりしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）		
	回答数(n)	割合(%)
1 カバンなどにつけている人	386	89.6
2 地下鉄・市電の専用席・優先席のステッカー	121	28.1
3 大通駅構内などのデジタルサイネージ（HILOSHI含む）	17	3.9
4 広報さっぽろ	48	11.1
5 札幌市が発行するパンフレット	19	4.4
6 ポスター	22	5.1
7 新聞	25	5.8
8 テレビ	45	10.4
9 ラジオ	2	0.5
10 札幌市の公式ホームページ	8	1.9
11 札幌市の公式SNS	2	0.5
12 札幌市公式以外のインターネット	5	1.2
13 職場での研修や学校の授業	6	1.4
14 身近な人が持っていた	42	9.7
15 その他	8	1.9
16 覚えていない	11	2.6
全体	431	100.0

《引き続き、Q13で「1 どちらも知っていた」、「2 ヘルプマークは知っていた」、「3 ヘルプカードは知っている」を選択した方にお聞きします。》 Q15. あなたは、「ヘルプマーク」や「ヘルプカード」の意味（趣旨）を知っていましたか。		
	回答数(n)	割合(%)
1 どちらも意味（趣旨）を知っていた	130	30.2
2 ヘルプマークの意味（趣旨）は知っていた	225	52.2
3 ヘルプカードの意味（趣旨）は知っていた	26	6.0
4 どちらも意味（趣旨）を知らなかった	50	11.6
全体	431	100.0

《皆さまにお聞きします。》 Q16. あなたは、「ヘルプマーク」を付けている人や「ヘルプカード」を持っている人を見かけたら、何か手助けしたいと思いますか。		
	回答数(n)	割合(%)
1 したい	78	15.6
2 どちらかといえばしたい	198	39.6
3 どちらともいえない	186	37.2
4 どちらかといえばしたくない	17	3.4
5 したくない	21	4.2
全体	500	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

下記をお読みになってから、質問にお答えください。

障がいのある方に対して、社会から差別、偏見、理解の不足、誤解などの心の障壁（バリア）があるとされています。日常生活の中に存在するこれらの「心のバリア」をなくしていくことを「心のバリアフリー」と言います。

Q17. あなたは、「心のバリアフリー」という言葉を知っていましたか。

	回答数(n)	割合(%)
1 知っていた	220	44.0
2 知らなかった	280	56.0
全体	500	100.0

《Q17で「1 知っていた」を選択した方にお聞きます。》
 Q18. あなたは、「心のバリアフリー」という言葉をどこで知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 広報さっぽろ	69	31.1
2 札幌市が発行するパンフレット	17	7.7
3 ポスター	9	4.1
4 新聞	37	16.7
5 テレビ	59	26.6
6 ラジオ	10	4.5
7 札幌市の公式ホームページ	6	2.7
8 札幌市の公式SNS	1	0.5
9 札幌市公式以外のインターネット	10	4.5
10 職場の研修や学校の授業	18	8.1
11 札幌市主催のイベント	1	0.5
12 家族・知人	6	2.7
13 地下鉄駅などのデジタルサイネージ	4	1.8
14 その他	6	2.7
15 覚えていない	76	34.2
全体	222	100.0

《引き続き、Q17で「1 知っていた」を選択した方にお聞きます。》
 Q19. あなたは「心のバリアフリー」の意味（趣旨）を知っていましたか。

	回答数(n)	割合(%)
1 知っていた	176	79.3
2 知らなかった	46	20.7
全体	222	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

《皆さまにお聞きします。》
Q20. 「札幌市において「心のバリアフリー」を推進するために、あなたが必要だと思うものは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 学校での子どもへの教育を充実する	263	52.6
2 市民や企業向けの研修会を充実する	99	19.8
3 イベントなどを通じた障がいのある人と市民との交流の機会を充実する	106	21.2
4 テレビ・新聞などのマスメディアでの広報活動を充実する	195	39.0
5 SNSを活用した広報活動を充実する	97	19.4
6 広報さっぽろ等で、理解を深めるための啓発を推進する	109	21.8
7 障がい者団体の活動をPRする	54	10.8
8 障がいのある人から話を聞く機会を増やす	76	15.2
9 パネル展示などの周知活動	45	9.0
10 その他	4	0.8
11 特になし	123	24.6
全体	500	100.0

札幌市では、心のバリアフリーについて学び、実践に繋げるための「心のバリアフリー研修」を実施しています。【URL】https://www.city.sapporo.jp/fukushi/machizukuri/kokorobf_suishin.html
あなたはこの研修に興味がありますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 ある	22	4.4
2 どちらかといえばある	84	16.8
3 どちらともいえない	208	41.6
4 どちらかといえばない	85	17.0
5 ない	101	20.2
全体	500	100.0

Q22. あなたは、どのような内容の研修であれば、受講したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 障がいの特性	86	17.2
2 障がいのある方の困りごと	171	34.2
3 障がいのある方への配慮の方法	188	37.6
4 障がいに関するマーク	57	11.4
5 障がいの体験（例えば車いす体験など）	67	13.4
6 当事者の経験談	94	18.8
7 障がいのある方とのフリートーク	28	5.6
8 その他	3	0.6
9 内容にかかわらず受講したいと思わない	186	37.2
全体	500	100.0

Q23. あなたは、障がいのある方への札幌市の取組に関心がありますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 とても関心がある	32	6.4
2 どちらかといえば関心がある	244	48.8
3 どちらかといえば関心がない	160	32.0
4 全く関心がない	64	12.8
全体	500	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

Q24. あなたは、障がいのある方への札幌市の取組に関することについて、どのような媒体で情報を得ていますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 広報さっぽろ	273	54.6
2 札幌市が発行するパンフレット	49	9.8
3 ポスター	35	7.0
4 新聞	79	15.8
5 テレビ	121	24.2
6 ラジオ	30	6.0
7 札幌市の公式ホームページ	36	7.2
8 札幌市の公式SNS	20	4.0
9 札幌市以外のインターネット	21	4.2
10 家族・知人	26	5.2
11 地下鉄駅などのデジタルサイネージ	37	7.4
12 その他	1	0.2
13 得ていない	157	31.4
全体	500	100.0

Q25. あなたは、札幌市は、障がいのある方にとって、地域で暮らしやすい街であると思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 そう思う	28	5.6
2 どちらかといえばそう思う	203	40.6
3 どちらかといえばそう思わない	209	41.8
4 そう思わない	60	12.0
全体	500	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

あなた自身についておうかがいします。

Q26. あなたの性別を教えてください。

	回答数(n)	割合(%)
1 男性	250	50.0
2 女性	250	50.0
3 その他	0	0.0
全体	500	100.0

Q27. あなたの年齢を教えてください。（令和7年1月1日現在）

	回答数(n)	割合(%)
1 15～19歳	0	0.0
2 20～29歳	50	10.0
3 30～39歳	100	20.0
4 40～49歳	100	20.0
5 50～59歳	100	20.0
6 60～69歳	100	20.0
7 70歳以上	50	10.0
全体	500	100.0

Q28. あなたは現在何区にお住まいですか。

	回答数(n)	割合(%)
1 中央区	76	15.2
2 北区	61	12.2
3 東区	68	13.6
4 白石区	47	9.4
5 厚別区	29	5.8
6 豊平区	73	14.6
7 清田区	23	4.6
8 南区	41	8.2
9 西区	43	8.6
10 手稲区	39	7.8
11 その他	0	0.0
全体	500	100.0

Q29. あなたの職業を教えてください。（最も近いものを1つ選んでください。）

	回答数(n)	割合(%)
1 会社員・団体職員	215	43.0
2 公務員	27	5.4
3 自営業	18	3.6
4 パート・アルバイト	93	18.6
5 主婦・主夫	66	13.2
6 学生	14	2.8
7 無職	57	11.4
8 その他	10	2.0
全体	500	100.0

Q30. あなたの世帯構成を教えてください。

	回答数(n)	割合(%)
1 自分1人または友人と同居などの単身世帯	106	21.2
2 夫婦2人だけの一世代世帯	146	29.2
3 親と子の二世代世帯	226	45.2
4 親と子と孫の三世代世帯	11	2.2
5 その他	11	2.2
全体	500	100.0

令和6年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【障害者差別解消法や関連する取組について】

Q31. あなたの同居しているご家族を教えてください。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 配偶者（パートナー）（65歳未満）	221	44.2
2 配偶者（パートナー）（65歳以上）	79	15.8
3 乳幼児（0～2歳程度）	16	3.2
4 就学前児童（3～5歳程度）	29	5.8
5 小学生（6～12歳程度）	56	11.2
6 中学生（13～15歳程度）	24	4.8
7 高校生（16～18歳程度）	40	8.0
8 大学（院）・専門学校生	30	6.0
9 配偶者以外の65歳以上の高齢者	54	10.8
10 その他の家族の方	81	16.2
11 一人暮らし	103	20.6
12 家族以外と同居	6	1.2
全体	500	100.0

Q32. あなたは日常生活において、どのような方法で情報収集を行っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数(n)	割合(%)
1 新聞	197	39.4
2 テレビ	350	70.0
3 ラジオ	115	23.0
4 インターネット	368	73.6
5 SNS	202	40.4
6 広報さっぽろ	264	52.8
7 札幌市が発行しているパンフレットやチラシなど	57	11.4
8 町内会の回覧板	98	19.6
9 家族や友人、知人	156	31.2
10 その他	5	1.0
11 特に情報を得ていない	37	7.4
全体	500	100.0

Q33. あなたご自身に身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）、その他の心身の機能の障がいや、難病に起因する障がいがありますか。（障害者手帳の有無に限らない。）

	回答数(n)	割合(%)
1 ある	59	11.8
2 ない	441	88.2
全体	500	100.0

Q34. あなたのご家族（同居の有無は問わない。）に身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）、その他の心身の機能の障がいや、難病に起因する障がいがありますか。（障害者手帳の有無に限らない。）

	回答数(n)	割合(%)
1 ある（18歳以上のご家族）	74	14.8
2 ある（18歳未満のご家族）	21	4.2
3 ない	405	81.0
全体	500	100.0